

令和7年第2回定例会 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(6月4日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

議案第56号 令和7年度かすみがうら市一般会計補正予算（第1号）

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3億7783万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ187億225万9千円とするものです。

Q 歳出における主なものは何か。また、財源の補助はあるのか。

A 地域農業を支えるため、JA水郷つくばの所有する既存の梨の選果施設を再編集約・合理化して整備を行う事業への補助金である、園芸振興に要する経費1億9509万8千円ですが、国及び県から同額の歳入があるものです。また、定額減税の不足額給付に係るシステム改修や関係通知代、管理業務の委託、補足調整給付金（不足額給付金）の合計を計上した、定額減税・調整給付に要する経費1億6647万1千円ですが、こちらも物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として同額の国庫補助金があるものです。

Q ふるさと納税返礼品開発支援補助金300万円の支出について、支援依頼の件数は。また、費用対効果についてはどう考えているのか。

A 現在9件ほど相談をいただいております。この制度につきましては、返礼品の商品開発、パッケージの作成といった費用に対して、消耗品や委託料、原材料等で補助率4分の3で実施しております。開発ができて商品化となり、ふるさと納税にラインナップはされるのですが、すぐに効果が表れるとは思いませんが、商品数を多くしまして、納税額の増加につなげていきたいと考えておりますので、推進していきたいと思っております。

Q 生成AIパイロット校事業委託金で263万1千円の歳入だが、生成AIを活用することで、子どもたちの教育環境についてこういったところを目指していくのか。

A 小・中9年間を通じまして情報活用能力を段階的に、系統的に育成していくという目標を立てております。子どもたちにまずは基本的な情報機器の利用の操作方法や、情報を正しく活用する情報リテラシー、ICTリテラシーも育成していこうと考えております。全国的には事例は出てきていますが、色々な教育現場の活用方法をモデル的に実践して、事例を出していくということで、校務の負担軽減や、子どもたちも、自分たちで調査研究をする上の取りまとめ等を生成AIに投げかけ、たたき台をつくってまとめていくといったノウハウを蓄積、育成していくというふうに考えております。